実施主体	草津市子ども・若者政策課【前回】	草津市子ども・若者政策課【今回】
対象	子どもの支援者(団体)	子どもの支援者(団体)
方法	団体へ依頼 ・教育 ・矯正・保護等 ・雇用 ・保健、医療 ・福祉	団体へ依頼 ・教育 ・矯正・保護等 ・雇用 ・保健、医療 ・福祉
期間	令和元年6月3日 ~令和元年7月1日	令和6年2月頃を予定
設問数	10 問	10 問
回答数	30 団体依頼中 36 件の回答 ※団体によっては複数の種類の 事業所を所有していることから、 回答件数は調査件数の 30 団体を 上回る	約 30 団体に依頼予定

【アンケートの趣旨・目的】

子ども・若者にかかわる関係機関等からアンケートを聴取し、前回の結果との比較などにより、本市における子ども・若者の抱える課題の再確認や、今後の施策推進のための基礎資料とする。

【集計結果の次期計画への活用(案)】

- ・子ども・若者が抱えている課題の把握
- ・子ども・若者が必要としている支援の把握
- ・活動団体が必要としている支援内容 等

子ども・若者支援に関する調査票

~子ども・若者支援に関わる団体のみなさまへ~

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。 当市では、令和7年に『(仮称)草津市こども計画』の策定を予定しております。 つきましては、草津市が新たに(仮称)草津市こども計画を策定するにあたって、 当調査票を地域の現状と課題を抽出し、今後の方向性を整理していくためにお伺いするものです。

ご記入に際しては代表の方または、団体のみなさまでご検討いただき、ご記入ください。なお、この調査票の内容について聞き取りで詳細をおうかがいする場合があります。

大変お忙しい中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、この調査票は、<u>令和6年●月●●日</u>までにご提出をお願いします。

なお、各項目に関連する補足資料がありましたら添付をお願いします。

	山体	名									
Ē	己 .	入	者	名							
Į.	直絡:	先									
_	, ,	· -		_		/ -		_			
ā	こ ノ	して	F 月	Ħ		年	月	日			

(1)団体の活動目的・活動内容などについ	てご記入ください。
構成人数:	
活動目的:	
活動の対象者や対象年齢:	
活動内容:	
(2)団体としてどのような支援等を提供・実	施していますか。(あてはまるものすべてに〇)
1. 学習や就学の援助などの教育支援	2. 生活困窮や悩み、虐待などの福祉支援
3. 医療や療養などの保健医療支援	4. 社会復帰援助などの矯正、更生保護支援
5. 職業的自立や就業などの雇用支援	
6. その他()
(3)提供・実施している支援方法についてお	お答えください。(あてはまるものすべてに〇)
1. 電話による相談	2. メールによる相談
3. 来所による相談	4. 訪問支援
5. 団体所管の施設への通所による支援	6. 居場所の提供
7. 保護者・支援者等の会の運営	8. 支援を受ける当事者の会の運営
9. その他()
(4)貴団体に寄せられる主な相談内容は何	Jですか。(あてはまるものすべてにO)
1. 社会資源(サービスや支援)の活用	2. 子どもに対する親の対応の仕方
3. 精神保健に関すること	4. 親からの相談
5. 進路と将来についての相談	6. SNS に関すること
7. ヤングケアラー	8. 交友関係
9. 虐待	10. その他()
(5)支援等の提供・実施を通じて、子ども・: (あてはまるものすべてに〇)	若者の抱えている問題はどのようなものですか。
1. 不登校	2. 高校の中退者
3. 若年無業者(いわゆるニート)	4. ひきこもり
5. 発達障害者(児)	6. 貧困世帯の子ども
7. 非行	8. 有害な環境・情報の氾濫
9. その他()

(6)貴団体の活動上の課題についてお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

- 1. 支援者の新規加入が少ない
- 2. 支援者に世代などの偏りがある
- 3. 支援者が仕事・家事などで忙しい 4. 支援者の専門性が不足している
- 5. 会議や活動の場所の確保ができていない 6. 他の団体と交流する機会が乏しい
- 7. 活動がマンネリ化している
- 8. 資金が不足している
- 9.活動に必要な情報が集まらない
- 10. 情報発信する場や機会が乏しい
- 11. 障害者のニーズにあった活動がない 12. 特に困ったことはない

13. その他()

(7)市全体を見たときに、不足しているサービスや支援はどのようなものでしょうか。 (あてはまるものすべてに〇)

- 1. 社会資源の充足と支援の仕組みづくり
- 2. 学習支援の充実
- 3. 家族支援の充実
- 4. 支援活動団体の PR と支援者の人材育成の充実
- 5. 医療支援の充実(心理療法、精神科診断、通院治療)
- 6. 総合相談窓口の充実
- 7. 広域的な支援体制づくりの創設
- 8. 支援者のフォロー体制の充実
- 9. 一般市民のひきこもりに対する正しい理解の促進
- 10. 居場所の充実
- 11. 訪問支援の充実
- 12. 専門的な人材育成と確保
- 13. その他(

)

	。支援について、日頃の活動などから特に課題と考えること、団体 ることがございましたら、ご記入ください。
(7)の選択肢番号()について
■状況や問題点・課題	
■課題解決に向けて団体等で	取り組めること・取り組みたいこと
(7)の選択肢番号()について
■状況や問題点・課題	
■課題解決に向けて団体等で	取り組めること・取り組みたいこと
(7)の選択肢番号()について
■状況や問題点・課題	
■課題解決に向けて団体等で	取り組めること・取り組みたいこと

(9)若者が、学ぶことや働くことに積極的になるために、地域社会にはどのようなことが求められると思いますか。あてはまるものすべてに〇)
1. 若い人たちが活躍できるような機会がたくさん用意されること
2. 定年退職した人などの技術や知識を若い人に還元する機会を提供すること
3. 市内にある事業所などが若い人たちを多く雇用すること
4. 地域にある事業所や商店と協力して、見学や就労体験の機会をつくること
5. 地域のまつりや行事を若い人たちに企画してもらう機会をつくること
6. ひきこもりを支援する NPO などの団体が、たくさんあること
7. 同じような悩みを抱える親同士の話し合いの機会があること
8. 市内の農家が農業体験の機会を提供すること
9. 若い人が居心地の良い場所があること
10. 貧困と格差が解消されること
11. その他(
(10)今後の若者支援、ひきこもり支援施策に求められるものについてご自由にご記入ください。 (若者を取り巻く現状や身近で感じている課題、市に希望することなど)

ご協力ありがとうございました。